# 年間指導計画

めざす 学校像

自信と誇りを持ち、温かい人 間関係で結ばれた、地域護者に信頼される学校。 地域・保

学校教育目標

自ら考え、行動し、未来を創造できる生徒の育成

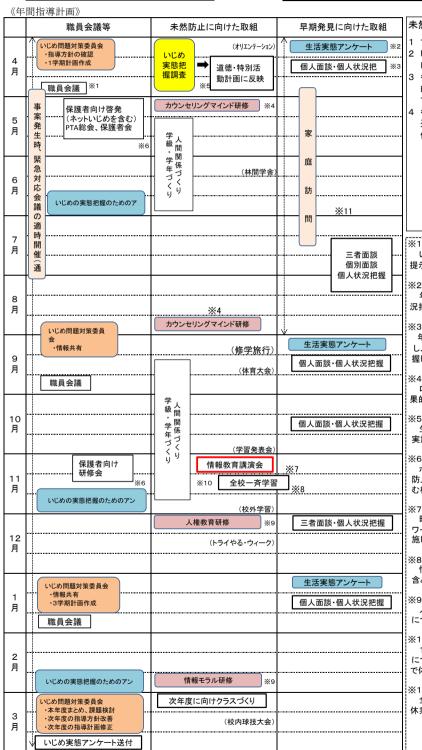
2 感謝する心、確かな学力を身につけた生徒の育成

健やかな心身を持つ生徒の育成

育てたい 生徒像

自分から挨拶ができ、意欲を持って 探求・協働できる生徒。 部活動・行事に燃え、美しいものに 感動し、お互いの気持ちを尊重する 思いやりのある生徒。

いじめ問題対策委員会 : 校長 教頭 生徒指導主事 各学年主任 養護教諭 \*状況に応じて関係職員等も含めて編成



未然防止、早期発見に向けて

- すべての教職員が、いじめ問題の重要性を認識する。 いじめ対策委員会を中心に、定期的に未然防止に向 けた取組を行う。
- 各個人の様子を学年会議等で情報交換を行い、具体 的な指導の留意点について職員会議や、職員研修会 で取り上げて共通理解を図る。
- 各担任や部活動顧問が、いじめの問題を一人で抱え 込むことなく、報告・連絡・相談を確実に行い、学校全 体で組織的に対応する。

### 危機管理の心構え「さしすせそ」

さ:最悪を想定する し:慎重に対処する す:素早く対処する せ:誠意を持って対処する

### ※1 職員会議

いじめ防止基本方針を確認し、指導方針や指導計画を 提示し、全教職員で共通理解を図る。

※2 生活実態(いじめ)アンケート 年度当初、大型連休明け、各学期始めに、休み中の状 況把握と同時にいじめの実態把握のアンケートを実施する。

### ※3 個人面談/個人状況把握

年度当初、各考査後等の区切りごとに個人面談を実施 し、生活状況把握するとともに、クラス内の生徒状況を把 握し、いじめが起こっていないかどうかを確認する。

## ※4 カウンセリングマインド研修

ロールプレイ等、研修の実施の仕方を工夫するなど効 果的な研修を実施する。

# ※5 いじめ実態把握調査

生徒、保護者を対象としたいじめ問題への意識調査を 実施し、その調査状況を元に特別支援の計画等を作成する。

ホームページや保護者会等を活用して、学校のいじめ 防止基本方針を周知するとともに、保護者からいじめを含 む様々な情報を収集する。

# ※7 情報教育講演会

昨今のソーシャルネットワーキングサービス(SNS)等の情報ネット ワークにまつわるトラブル等について生徒向けに講演を実 施し、情報セキュリティについての注意を喚起する。

情報教育講演会の感想を書くとともに、ネットいじめ等を 含み、正しい情報機器の使い方を話し合う。

※9 人権教育研修/情報モラル研修 人権の問題として、いじめ、ネットいじめ、情報モラル等 についての研修会を実施する。

### ※10 学級・学年づくり/人間関係づくり

1学期、2学期を通して、クラスや学年の人間関係づくり についてLHR等で学習するとともに、ふるさと貢献活動等 で体験する。

# ※11 家庭訪問

全学年で、担任や学年グループ、部活動顧問が、夏季 休業中までに、一度は家庭訪問を行う。